

# 三浦 義光 議員 市政会



## 問 消えゆく弥富の文鳥

## 答 高校との協議を持ちたい

**問** 文鳥生産農家の数は。

**答** (農政課長) 把握して

いる農家は2軒。

**問** 3月に掲載された文鳥

の新聞取材での担当窓口お

よび取材の詳細は。

**答** (農政課長) 商工観光

課では、観光ガイドブック

と市勢要覧から文鳥を外し

たことを説明し、文鳥のオ

ブジエを紹介。農政課では、

生産農家が2軒と説明し、

内1軒を紹介した。

**問** 愛西市にある県立佐屋

高校への支援は、行政区が

違い、難しいのか。

**答** (農政課長) 生産農家

の了解が得られるなら、技

術指導交流という形で支援

ができればと考える。

**問** 文鳥文化および技術伝

承という意味合いでの市の

考えは。

**答** (市長) 白文鳥発祥の

地であり、文

鳥の特産地で

あった歴史的

事実を継承し

ていきたい。

<b>問</b>	特々事業における石綿管改修
<b>答</b>	本年度、市負担割合引き下げ

**!** 特々事業とは  
特定農業用管路特別対策事業

**答** (開発部長) 県負担率

が40%に引き上げられ、市

負担率は4%引き下げられ

9%となった。

**問** 大規模地震における、

国庫補助金の暫定法、激甚

法とは。

**答** (開発部長) 暫定法の

基本補助率は、農地50%、

農業用施設65%であるが、

激甚法が適用されれば補助

の嵩上げがされ、最大90%

程度まで引き上げられる。

**問** 本市は条件不利地域で

あるが、地元負担金が重荷

になるのでは。総合的な市

の考えは。

**答** (市長) 土地改良事業

は、安心・安全のための事

業。特々事業以外の事業に

も市負担軽減を求めたい。

激甚災害時の市負担は心配

であり、国、県の補助を要

する。



▲市内電話ボックスの文鳥オブジェ (国道1号線)